

## 病理学（病因と病態）

3 年次 前学期	授業科目責任者：山本 浩嗣（口腔病理学） ユニット責任者：山本 浩嗣（口腔病理学）
----------	--

学習の目標 (GIO)	疾病は生体の機能や構造、あるいはその両者が正常範囲から逸脱した現象であり、その原因を「病因」、表出した状態を「病態」とする。種々の疾病を総合的に理解するためには病因・病態、ならびにそれらを結び付けている過程・経過における変化や現象（病変）を考究しなければならず、この理解をなくしては医療・歯科医療が成立しない。さらに、疾病を理解する思考は基礎医歯学から臨床医歯学への橋渡しとなる。したがって、本講義の一般目標は疾病の本態を理解するために、その成り立ちや理論を習得し、ひいては問題発見及び問題解決能力を身につける。
授業担当者	口腔病理学講座：山本浩嗣、宇都宮忠彦、木場秀夫、岡田裕之、久山佳代、*朔 敬、*豊澤 悟
教科書	スタンダード病理学（学建書院） スタンダード口腔病態病理学（学建書院）
参考図書	歯学生のための一般病理アトラス（永末書店） 口腔病理アトラス（文光堂）
実習器材	特になし。
評価方法 (EV)	原則として、中間試験の成績を加味し、定期試験の成績を主体として総合的に評価する。また、受講態度（出欠状況など）やレポート、授業ノート等についても評価の対象となりうる。
学生への メッセージ オフィスアワー	「病因と病態」を理解するためには、正常の構造や機能に関する知識が基本となりますので、それらと関連づけて理解してください。またこの科目は、将来の臨床歯科学との橋渡しになる内容ですのでしっかりマスターしてください。

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
4月6日(水) 1時間 9:00 ~ 9:50	「病因と病態」序論 (病因論)	学習内容：疾病の成り立ちと病態との関連性についての基礎的知識を習得する。 <b>【準備学習項目】</b> ・疾患の内因と外因を列挙できる。 ・6大病変を列挙できる。 <b>【講義】</b> 行動目標(SBOs)： ・医原病を列挙できる。 ・代表的な医原病の病態を解説できる。 ・6大病変の特徴を説明できる。 学習方略(LS)： 301 講堂，マルチメディアの併用，第2 実習室 コアカリキュラム：D-4 国家試験出題基準：必-14-A，総-(VI)-1	山本浩嗣
4月6日(水) 1時間 10:00 ~ 10:50	「病因と病態」序論 (病因論)	学習内容：疾病の成り立ちと病態との関連性についての基礎的知識を習得する。 <b>【準備学習項目】</b> ・疾患の内因と外因を列挙できる。 ・6大病変を列挙できる。 <b>【講義】</b> 行動目標(SBOs)： ・疾病の原因と成り立ちとの関連性について説明できる。 ・外因の関与する代表的疾患の病態について述べるができる。 学習方略(LS)： 301 講堂，マルチメディアの併用，第2 実習室 コアカリキュラム：D-4 国家試験出題基準：必-14-A，総-(VI)-1	同上
4月6日(水) 1時間 11:00 ~ 11:50	「病因と病態」序論 (病因論)	学習内容：疾病の成り立ちと病態との関連性についての基礎的知識を習得する。 <b>【準備学習項目】</b> ・疾患の内因と外因を列挙できる。 ・6大病変を列挙できる。 <b>【講義】</b> 行動目標(SBOs)： ・内因の関与する代表的疾患の特徴について説明できる。 学習方略(LS)： 301 講堂，マルチメディアの併用，第2 実習室 コアカリキュラム：D-4 国家試験出題基準：必-14-A，総-(VI)-1	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
4月13日(水) 1時間 9:00 ~ 9:50	細胞傷害, 組織傷害及び萎縮 (退行性病変)	学習内容: 細胞傷害, 組織傷害及び萎縮(退行性病変)の 病因・病態と生物学的意義を理解する。 【準備学習項目】 ・退行性病変における萎縮, 変性及び壊死の定義について 述べるができる。 【講義】 行動目標(SBOs): ・退行性病変の医学的意義について述べるができる。 ・萎縮の原因, 種類及び病態について説明できる。 学習方略(LS): 301 講堂, マルチメディアの併用, 第2 実習室 コアカリキュラム: D-4-1) 国家試験出題基準: 必-14-A-j,k, 総-(VI)-2	岡田裕之
4月13日(水) 1時間 10:00 ~ 10:50	細胞傷害, 組織傷害及び萎縮 (退行性病変)	学習内容: 細胞傷害, 組織傷害及び萎縮(退行性病変)の 病因・病態と生物学的意義を理解する。 【準備学習項目】 ・退行性病変における萎縮, 変性及び壊死の定義について 述べるができる。 【講義】 行動目標(SBOs): ・変性の定義を述べるができる。 ・変性の成因, 種類, 形態的特徴及び代表的疾患の病態に ついて説明できる。 学習方略(LS): 301 講堂, マルチメディアの併用, 第2 実習室 コアカリキュラム: D-4-1) 国家試験出題基準: 必-14-A-j,k, 総-(VI)-2	同上
4月13日(水) 1時間 11:00 ~ 11:50	細胞傷害, 組織傷害及び萎縮 (退行性病変)	学習内容: 細胞傷害, 組織傷害及び萎縮(退行性病変)の 病因・病態と生物学的意義を理解する。 【準備学習項目】 ・退行性病変における萎縮, 変性及び壊死の定義について 述べるができる。 【講義】 行動目標(SBOs): ・壊死, 壊疽, アポトーシスの成因, 意義, 多様性及び病 態について解説できる。 学習方略(LS): 301 講堂, マルチメディアの併用, 第2 実習室 コアカリキュラム: D-4-1) 国家試験出題基準: 必-14-A-j,k, 総-(VI)-2	同上
4月20日(水) 1時間 9:00 ~ 9:50	循環障害	学習内容: 循環障害の病因・病態と医学的意義について 学ぶ。 【準備学習項目】 ・血液及びリンパ液の循環(経路)について説明できる。 ・循環血液量の異常の種類を列挙できる。 ・閉塞性の循環障害の種類を列挙できる。 【講義】 行動目標(SBOs): ・虚血, 充血, うっ血, 出血の成り立ち, 種類, 病態及び 転帰について説明できる。 学習方略(LS): 301 講堂, マルチメディアの併用, 第2 実習室 コアカリキュラム: D-4-3) 国家試験出題基準: 必-4-A-h, 総-(VI)-4	木場秀夫
4月20日(水) 1時間 10:00 ~ 10:50	循環障害	学習内容: 循環障害の病因・病態と医学的意義について 学ぶ。 【準備学習項目】 ・血液及びリンパ液の循環(経路)について説明できる。 ・循環血液量の異常の種類を列挙できる。 ・閉塞性の循環障害の種類を列挙できる。 【講義】 行動目標(SBOs): ・閉塞性循環障害の種類を列挙することができる。 ・血栓, 塞栓, 梗塞の成因, 種類, 病態及び転帰を説明で きる。 ・播種性血管内凝固症(DIC)の成因と病態を解説できる。 ・側副循環形成の成因, 種類及び関連する主な疾患につい て述べるができる。 学習方略(LS): 301 講堂, マルチメディアの併用, 第2 実習室 コアカリキュラム: D-4-3) 国家試験出題基準: 必-14-A-h, 総-(VI)-4	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
4月20日(水) 1時間 11:00～11:50	循環障害	<p>学習内容：循環障害の病因・病態と医学的意義について学ぶ。</p> <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・血液及びリンパ液の循環(経路)について説明できる。</li> <li>・循環血液量の異常の種類を列挙できる。</li> <li>・閉塞性の循環障害の種類を列挙できる。</li> </ul> <p>【講義】</p> <p>行動目標(SBOs)：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ショックの種類，成り立ち及び病態について解説できる。</li> <li>・浮腫の成り立ち，病態及び転帰について説明できる。</li> <li>・滲出液と漏出液の特徴(相違点を含む)について解説できる。</li> <li>・腔水症の意義，種類及び病態について述べることができる。</li> </ul> <p>学習方略(LS)：</p> <p>301講堂，マルチメディアの併用，第2実習室 コアカリキュラム：D-4-3) 国家試験出題基準：必-14-A-h，総-(VI)-4</p>	同上
4月27日(水) 1時間 9:00～9:50	修復と再生 (進行性病変)	<p>学習内容：進行性病変としての組織・細胞の修復・再生に関する病因・病態と生物学的意義を習得する。</p> <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進行性病変の定義と種類について説明できる。</li> </ul> <p>【講義】</p> <p>行動目標(SBOs)：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・増殖と肥大について説明できる。</li> <li>・修復と再生について解説できる。</li> <li>・化生について説明することができる。</li> <li>・細胞・組織の再生能力について述べるができる。</li> </ul> <p>学習方略(LS)：</p> <p>301講堂，マルチメディアの併用，第2実習室 コアカリキュラム：D-4-1)- ，D-4-2) 国家試験出題基準：必-14-A-c,j,l，総-(VI)-3</p>	木場秀夫
4月27日(水) 1時間 10:00～10:50	修復と再生 (進行性病変)	<p>学習内容：進行性病変としての組織・細胞の修復・再生に関する病因・病態と生物学的意義を習得する。</p> <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進行性病変の定義と種類について説明できる。</li> </ul> <p>【講義】</p> <p>行動目標(SBOs)：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・創傷治癒に關与する細胞とその過程について解説できる。</li> <li>・骨折の治癒に關与する細胞とその過程について説明できる。</li> <li>・抜歯創の治癒に關与する細胞とその過程について述べることができる。</li> <li>・移植の適用とその後の反応について説明できる。</li> </ul> <p>学習方略(LS)：</p> <p>301講堂，マルチメディアの併用，第2実習室 コアカリキュラム：D-4-1)- ，D-4-2), F-2-4)-(1) 国家試験出題基準：必-14-A-c,j,l，総-(VI)-3</p>	同上
4月27日(水) 1時間 11:00～11:50	修復と再生 (進行性病変)	<p>学習内容：進行性病変としての組織・細胞の修復・再生に関する病因・病態と生物学的意義を習得する。</p> <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進行性病変の定義と種類について説明できる。</li> </ul> <p>【講義】</p> <p>行動目標(SBOs)：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歯髄・象牙質の創傷治癒に關与する細胞とその過程について述べることができる。</li> <li>・歯牙破折の種類とその治癒過程について説明できる。</li> </ul> <p>学習方略(LS)：</p> <p>301講堂，マルチメディアの併用，第2実習室 コアカリキュラム：D-4-1)- ，D-4-2), F-2-4)-(1) 国家試験出題基準：必-14-A-c,j,l，総-(VI)-3</p>	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
5月11日(水) 1時間 9:00～9:50	炎症(総論)	<p>学習内容: 炎症の病因・病態と医学的意義について学習する。</p> <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・炎症のケミカルメディエーターについて説明できる。</li> <li>・白血球, リンパ球, 形質細胞, マクロファージ, NK細胞等の炎症性細胞の機能について説明できる。</li> </ul> <p>【講義】</p> <p>行動目標(SBOs):</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・炎症の定義と発症機序について解説できる。</li> <li>・5つの臨床症状とその病理組織学的裏付けを説明できる。</li> <li>・炎症の分類, 病理組織学的変化及び経時的変化について説明できる。</li> </ul> <p>学習方略(LS):</p> <p>301講堂, マルチメディアの併用, 第2実習室 コアカリキュラム: D-4-4) 国家試験出題基準: 必-14-A-d,e, 総-(VI)-5</p>	久山佳代
5月11日(水) 1時間 10:00～10:50	炎症(総論)	<p>学習内容: 炎症の病因・病態と医学的意義について学習する。</p> <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・炎症のケミカルメディエーターについて説明できる。</li> <li>・白血球, リンパ球, 形質細胞, マクロファージ, NK細胞等の炎症性細胞の機能について説明できる。</li> </ul> <p>【講義】</p> <p>行動目標(SBOs):</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・変質性炎の病態と代表的疾患について説明できる。</li> <li>・滲出性炎の成因, 種類, 形態的特徴及び代表的疾患について解説できる。</li> <li>・増殖性炎や特異性炎の種類, 成因, 形態的特徴及び代表的疾患の病態について解説できる。</li> </ul> <p>学習方略(LS):</p> <p>301講堂, マルチメディアの併用, 第2実習室 コアカリキュラム: D-4-4) 国家試験出題基準: 必-14-A-d,e, 総-(VI)-5</p>	同上
5月11日(水) 1時間 11:00～11:50	炎症(総論)	<p>学習内容: 炎症の病因・病態と医学的意義について学習する。</p> <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・炎症のケミカルメディエーターについて説明できる。</li> <li>・白血球, リンパ球, 形質細胞, マクロファージ, NK細胞等の炎症性細胞の機能について説明できる。</li> <li>・細胞性免疫や体液性免疫について解説できる。</li> </ul> <p>【講義】</p> <p>行動目標(SBOs):</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・膠原病と自己免疫疾患を列挙できる。</li> <li>・膠原病と自己免疫疾患の成因及び病態について説明できる。</li> <li>・アレルギー性炎の成因, 種類, 病態及び代表的疾患について説明できる。</li> </ul> <p>学習方略(LS):</p> <p>301講堂, マルチメディアの併用, 第2実習室 コアカリキュラム: D-4-4) 国家試験出題基準: 必-14-A-d,e, 総-(VI)-6</p>	同上
5月18日(水) 1時間 9:00～9:50	歯・歯髄・歯周組織の退行性及び進行性病変	<p>学習内容: 歯・歯髄・歯周組織の退行性及び進行性病変の病因・病態と医学的意義について学ぶ。</p> <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歯, 歯髄及び歯周組織の正常構造と機能について説明できる。</li> <li>・石灰化や硬組織形成機序について解説できる。</li> </ul> <p>【講義】</p> <p>行動目標(SBOs):</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・咬耗・磨耗の成因, 分類及び病態について説明できる。</li> <li>・象牙粒, セメント粒及びセメント質肥大について解説できる。</li> <li>・歯髄の萎縮及び変性について説明できる。</li> </ul> <p>学習方略(LS):</p> <p>301講堂, マルチメディアの併用, 第2実習室 コアカリキュラム: F-3-2) 国家試験出題基準: 必-14-B, 総-(VI)-11-B</p>	木場秀夫

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
5月18日(水) 1時間 10:00 ~ 10:50	齲蝕	学習内容: 齲蝕の疫学と病因・病態について学ぶ。 【準備学習項目】 ・ 齲蝕の疫学的事項について説明できる。 ・ 齲蝕原性細菌や歯垢形成について説明できる。 【講義】 行動目標(SBOs): ・ 齲蝕の発生機序について解説できる。 学習方略(LS): 301 講堂, マルチメディアの併用, 第2 実習室 コアカリキュラム: F-3-2) 国家試験出題基準: 必-14-B, 総-(VI)-11-B	同上
5月18日(水) 1時間 11:00 ~ 11:50	齲蝕	学習内容: 齲蝕の疫学と病因・病態について学ぶ。 【準備学習項目】 ・ 齲蝕の分類について説明できる。 【講義】 行動目標(SBOs): ・ 齲蝕の進行について述べるができる。 ・ 齲蝕の病理形態学的特徴について説明できる。 学習方略(LS): 301 講堂, マルチメディアの併用, 第2 実習室 コアカリキュラム: F-3-2) 国家試験出題基準: 必-14-B, 総-(VI)-11-B	同上
5月25日(水) 1時間 9:00 ~ 9:50	炎症(歯髄・歯周組織)	学習内容: 歯髄の炎症性疾患について, その病因・病態と医学的意義について学ぶ。 【準備学習項目】 ・ 歯髄炎発症に至る経過について説明できる。 【講義】 行動目標(SBOs): ・ 歯髄炎の成因, 分類及び病態について説明できる。 学習方略(LS): 301 講堂, マルチメディアの併用, 第2 実習室 コアカリキュラム: D-4-4), F-3-2) 国家試験出題基準: 必-14-B-a, 総-(VI)-11-B	宇都宮忠彦
5月25日(水) 1時間 10:00 ~ 10:50	炎症(歯髄・歯周組織)	学習内容: 根尖性歯周組織の炎症性疾患について, その病因・病態と医学的意義について学ぶ。 【準備学習項目】 ・ 根尖性歯周炎の成因と分類について説明できる。 【講義】 行動目標(SBOs): ・ 根尖性歯周炎の病態を説明できる。 ・ 齲蝕あるいは歯髄治療後の歯髄及び根尖歯周組織の病態について説明できる。 学習方略(LS): 301 講堂, マルチメディアの併用, 第2 実習室 コアカリキュラム: D-4-4), F-3-2) 国家試験出題基準: 必-14-B-a, 総-(VI)-11-B	同上
5月25日(水) 1時間 11:00 ~ 11:50	炎症(歯髄・歯周組織)	学習内容: 辺縁歯周組織の炎症性疾患について, その病因・病態と医学的意義について学ぶ。 【準備学習項目】 ・ 骨の改造現象(リモデリング)について解説できる。 ・ エプーリスの分類と病理学的特徴について説明できる。 ・ 歯肉炎と歯周炎の分類について説明できる。 【講義】 行動目標(SBOs): ・ 歯肉炎の成因及び病態について説明できる。 ・ 辺縁性歯周炎の成因, 病態及び関連する全身疾患について解説できる。 ・ 歯周治療後の病態について解説できる。 学習方略(LS): 301 講堂, マルチメディアの併用, 第2 実習室 コアカリキュラム: D-4-4), F-3-2), F-2-4)-(3) 国家試験出題基準: 必-14-B-a, 総-(VI)-11-B	同上
6月1日(水) 1時間 9:00 ~ 9:50	炎症(口腔粘膜)	学習内容: 口腔粘膜疾患の病因・病態と医学的意義について理解する。 【準備学習項目】 ・ 口腔粘膜の炎症性(感染性)病変を列挙できる。 【講義】 行動目標(SBOs): ・ 各種口腔粘膜の炎症性(感染性)病変について, その病因, 種類及び病態について説明できる。 学習方略(LS): 301 講堂, マルチメディアの併用, 第2 実習室 コアカリキュラム: D-4-4), F-2-4)-(2), (7) 国家試験出題基準: 必修 14Bg, 総論(VI)11C	岡田裕之

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
6月1日(水) 1時間 10:00～10:50	炎症(口腔粘膜)	学習内容:口腔粘膜疾患の病因・病態と医学的意義について理解する。 【準備学習項目】 ・口腔粘膜の非感染性病変を列挙できる。 【講義】 行動目標(SBOs): ・口腔粘膜の非感染性病変について、その病因、種類及び病態について説明できる。 学習方略(LS): 301講堂,マルチメディアの併用,第2実習室 コアカリキュラム:D-4-4,F-2-4)-(2),(7) 国家試験出題基準:必-14-B-g,総-(VI)-11-C	同上
6月1日(水) 1時間 11:00～11:50	炎症(顎骨・顎関節)	学習内容:顎骨の炎症及び顎関節疾患の病因・病態と医学的意義について理解する。 【準備学習項目】 ・顎骨と顎関節の疾患を列挙できる。 【講義】 行動目標(SBOs): ・顎骨の炎症性疾患について、その病因、種類および病態について説明できる。 ・顎関節疾患について、その病因、種類及び病態について説明できる。 学習方略(LS): 301講堂,マルチメディアの併用,第2実習室 コアカリキュラム:D-4-4,F-2-4)-(2),(7) 国家試験出題基準:必-14-B-g,総-(VI)-11-E	同上
6月8日(水) 1時間 9:00～9:50	中間のまとめ	学習内容:問題演習(中間試験) 行動目標(SBOs): ・問題演習を通して病因論,退行性病変,循環障害,進行性病変及び炎症について整理・体系化できる。 実施場所:301講堂,第2実習室	山本浩嗣
6月8日(水) 1時間 10:00～10:50	顎骨の線維性骨疾患	学習内容:顎骨に発生する線維性骨疾患の病理学的特徴について学ぶ。 【準備学習項目】 ・線維性骨疾患を列挙できる。 【講義】 行動目標(SBOs): ・線維骨形成性骨疾患の分類について述べるができる。 ・線維骨形成性骨疾患の病理学的特徴について説明できる。 学習方略(LS): 301講堂,マルチメディアの併用,第2実習室 コアカリキュラム:F-2-4)-(3) 国家試験出題基準:必-14-B-i,総-(VI)-11-E,G,I	豊澤悟
6月8日(水) 1時間 11:00～11:50	顎骨の線維性骨疾患	学習内容:顎骨に発生する線維性骨疾患の病理学的特徴について学ぶ。 【準備学習項目】 ・線維性骨疾患を列挙できる。 【講義】 行動目標(SBOs): ・線維骨形成性骨疾患と系統疾患との関連性について解説できる。 学習方略(LS): 301講堂,マルチメディアの併用 コアカリキュラム:F-2-4)-(3) 国家試験出題基準:必-14-B-i,総-(VI)-11-E,G,I	同上
6月15日(水) 1時間 9:00～9:50	腫瘍(総論)	学習内容:腫瘍の病因・病態と生物学的意義について学ぶ。 【準備学習項目】 ・上皮性組織と非上皮性組織について説明できる。 ・腫瘍の定義を述べるができる。 ・細胞分裂周期と形態学的特徴について解説できる。 【講義】 行動目標(SBOs): ・腫瘍の発生原因と組織発生(多段階説)について説明できる。 ・良・悪性腫瘍の肉眼的及び病理組織学的鑑別点について解説できる。 学習方略(LS): 301講堂,マルチメディアの併用,第2実習室 コアカリキュラム:D-4-5) 国家試験出題基準:必-14-A-g,総-(VI)-7	宇都宮忠彦

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
6月15日(水) 1時間 10:00～10:50	腫瘍(総論)	<p>学習内容:腫瘍の病因・病態と生物学的意義について学ぶ。</p> <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上皮性組織と非上皮性組織について説明できる。</li> <li>・腫瘍の定義を述べることができる。</li> <li>・細胞分裂周期と形態学的特徴について解説できる。</li> </ul> <p>【講義】</p> <p>行動目標(SBOs):</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・腫瘍の分類を説明することができる。</li> <li>・上皮性・非上皮性腫瘍の病理組織学的特徴(相違点を含む)を述べるができる。</li> <li>・非歯源性腫瘍の病理組織学的特徴を説明できる。</li> <li>・口腔領域に発生する腫瘍類似疾患を列挙できる。</li> <li>・腫瘍類似疾患の病理組織学的特徴を説明できる。</li> <li>・異形成,退形成及び分化を解説できる。</li> <li>・腫瘍の異型性と多形性を説明できる。</li> </ul> <p>学習方略(LS):</p> <p>301講堂,マルチメディアの併用,第2実習室 コアカリキュラム:D-4-5),F-2-4)-(3) 国家試験出題基準:必-14-A-g,-B-i,総-(VI)-7,11-G</p>	同上
6月15日(水) 1時間 11:00～11:50	腫瘍(総論)	<p>学習内容:腫瘍の病因・病態と生物学的意義について学ぶ。</p> <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上皮性組織と非上皮性組織について説明できる。</li> <li>・腫瘍の定義を述べることができる。</li> <li>・細胞分裂周期と形態学的特徴について解説できる。</li> </ul> <p>【講義】</p> <p>行動目標(SBOs):</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・腫瘍の浸潤,発育及び転移様式について解説できる。</li> <li>・悪性腫瘍の進行度について説明できる。</li> </ul> <p>学習方略(LS):</p> <p>301講堂,マルチメディアの併用,第2実習室 コアカリキュラム:D-4-5),F-2-4)-(3) 国家試験出題基準:必-14-A-g,-B-i,総-(VI)-7,11-G</p>	同上
6月22日(水) 1時間 9:00～9:50	腫瘍(歯源性)	<p>学習内容:歯源性腫瘍の病因・病態と生物学的意義について学ぶ。</p> <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歯の発生と組織学的特徴について解説できる。</li> <li>・歯源性腫瘍を列挙できる。</li> </ul> <p>【講義】</p> <p>行動目標(SBOs):</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・組織発生に基づいた歯源性腫瘍の分類について説明できる。</li> <li>・各種歯源性上皮性腫瘍の好発部位・年齢,性別発生及び病理組織学的特徴について述べるができる。</li> </ul> <p>学習方略(LS):</p> <p>301講堂,マルチメディアの併用,第2実習室 コアカリキュラム:D-4-5),F-2-4)-(3) 国家試験出題基準:必-14-A-g,-B-i,総-(VI)-7,-11-G</p>	岡田裕之
6月22日(水) 1時間 10:00～10:50	腫瘍(歯源性)	<p>学習内容:歯源性腫瘍の病因・病態と生物学的意義について学ぶ。</p> <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歯の発生と組織学的特徴について解説できる。</li> <li>・歯源性腫瘍を列挙できる。</li> </ul> <p>【講義】</p> <p>行動目標(SBOs):</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種歯源性混合性腫瘍の好発部位・年齢,性別発生及び病理組織学的特徴について述べるができる。</li> </ul> <p>学習方略(LS):</p> <p>301講堂,マルチメディアの併用,第2実習室 コアカリキュラム:D-4-5),F-2-4)-(3) 国家試験出題基準:必-14-A-g,-B-i,総-(VI)-7,-11-G</p>	同上
6月22日(水) 1時間 11:00～11:50	腫瘍(歯源性)	<p>学習内容:歯源性腫瘍の病因・病態と生物学的意義について学ぶ。</p> <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歯の発生と組織学的特徴について解説できる。</li> <li>・歯源性腫瘍を列挙できる。</li> </ul> <p>【講義】</p> <p>行動目標(SBOs):</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種歯源性非上皮性腫瘍,顎骨の腫瘍及び腫瘍状病変の好発部位・年齢,性別発生や病理組織学的特徴について述べるができる。</li> </ul> <p>学習方略(LS):</p> <p>301講堂,マルチメディアの併用,第2実習室 コアカリキュラム:D-4-5),F-2-4)-(3) 国家試験出題基準:必-14-A-g,-B-i,総-(VI)-7,-11-G</p>	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
6月29日(水) 1時間 9:00～9:50	腫瘍(唾液腺)	<p>学習内容: 唾液腺腫瘍の病因・病態と生物学的意義について学ぶ。</p> <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・唾液腺の正常構造と機能について解説できる。</li> <li>・唾液腺腫瘍を列挙できる。</li> </ul> <p>【講義】</p> <p>行動目標(SBOs):</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・唾液腺腫瘍の分類について説明できる。</li> </ul> <p>学習方略(LS):</p> <p>301 講堂, マルチメディアの併用, 第2 実習室 コアカリキュラム: D-4-5,F-2-4)-(5) 国家試験出題基準: 必-14-A-g,-B-i,k, 総-(VI)-7,-11-G</p>	宇都宮忠彦
6月29日(水) 1時間 10:00～10:50	腫瘍(唾液腺)	<p>学習内容: 唾液腺腫瘍の病因・病態と生物学的意義について学ぶ。</p> <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・唾液腺の正常構造と機能について解説できる。</li> <li>・唾液腺腫瘍を列挙できる。</li> </ul> <p>【講義】</p> <p>行動目標(SBOs):</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・良性唾液腺腫瘍の組織発生, 種類及び病態を説明できる。</li> </ul> <p>学習方略(LS):</p> <p>301 講堂, マルチメディアの併用, 第2 実習室 コアカリキュラム: D-4-5,F-2-4)-(5) 国家試験出題基準: 必-14-A-g,-B-i,k, 総-(VI)-7,-11-G</p>	同上
6月29日(水) 1時間 11:00～11:50	腫瘍(唾液腺)	<p>学習内容: 唾液腺腫瘍の病因・病態と生物学的意義について学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・唾液腺の正常構造と機能について解説できる。</li> <li>・唾液腺腫瘍を列挙できる。</li> </ul> <p>【講義】</p> <p>行動目標(SBOs):</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・悪性唾液腺腫瘍の組織発生, 種類及び病態について説明できる。</li> </ul> <p>学習方略(LS):</p> <p>301 講堂, マルチメディアの併用, 第2 実習室 コアカリキュラム: D-4-5,F-2-4)-(5) 国家試験出題基準: 必-14-A-g,-B-i,k, 総-(VI)-7,-11-G</p>	同上
7月6日(水) 1時間 9:00～9:50	嚢胞(総論)	<p>学習内容: 嚢胞の病因・病態と生物学的意義について学習する。</p> <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・嚢胞の定義や種類について述べることができる。</li> </ul> <p>【講義】</p> <p>行動目標(SBOs):</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・嚢胞の分類について説明できる。</li> </ul> <p>学習方略(LS):</p> <p>301 講堂, マルチメディアの併用, 第2 実習室 コアカリキュラム: F-2-4)-(3) 国家試験出題基準: 必-14-B-h, 総-(VI)-11-F</p>	山本浩嗣
7月6日(水) 1時間 10:00～10:50	顎骨に発生する嚢胞	<p>学習内容: 嚢胞の病因・病態と生物学的意義について学習する。</p> <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・嚢胞の定義や種類について述べることができる。</li> </ul> <p>【講義】</p> <p>行動目標(SBOs):</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・顎骨に発生する嚢胞の成因, 種類及び病態について解説することができる。</li> </ul> <p>学習方略(LS):</p> <p>301 講堂, マルチメディアの併用, 第2 実習室 コアカリキュラム: F-2-4)-(3) 国家試験出題基準: 必-14-B-h, 総-(VI)-11-F</p>	朔敬
7月6日(水) 1時間 11:00～11:50	軟組織に発生する嚢胞	<p>学習内容: 嚢胞の病因・病態と生物学的意義について学習する。</p> <p>行動目標(SBO)</p> <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・嚢胞の定義や種類について述べることができる。</li> </ul> <p>【講義】</p> <p>行動目標(SBOs):</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・軟組織に発生する嚢胞の成因, 種類及び病態について説明することができる。</li> </ul> <p>学習方略(LS):</p> <p>301 講堂, マルチメディアの併用, 第2 実習室 コアカリキュラム: F-2-4)-(3) 国家試験出題基準: 必-14-B-h, 総-(VI)-11-F</p>	同上



日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
7月13日(水) 1時間 9:00 ~ 9:50	先天異常・奇形	学習内容: 先天異常・奇形と症候群の成り立ち, 分類及び病態について学習する。 【準備学習項目】 ・先天異常の種類や代表的疾患を列挙できる。 【講義】 行動目標(SBOs): ・先天異常の成因を述べるができる。 ・遺伝性疾患について解説できる。 ・染色体異常について説明できる。 学習方略(LS): 301講堂, マルチメディアの併用, 第2実習室 コアカリキュラム: F-2-4)-(3) 国家試験出題基準: 必-14-A-b, 総-(VI)-1-A	久山佳代
7月13日(水) 1時間 10:00 ~ 10:50	先天異常・奇形	学習内容: 先天異常・奇形と症候群の成り立ち, 分類及び病態について学習する。 【準備学習項目】 ・先天異常の種類や代表的疾患を列挙できる。 【講義】 行動目標(SBOs): ・奇形の定義を述べるができる。 ・奇形の成因及び分類について説明できる。 学習方略(LS): 301講堂, マルチメディアの併用, 第2実習室 コアカリキュラム: F-2-4)-(3) 国家試験出題基準: 必-14-A-b,-B-e, 総-(VI)-1-A,-1-1A	同上
7月13日(水) 1時間 11:00 ~ 11:50	先天異常・奇形	学習内容: 先天異常・奇形と症候群の成り立ち, 分類及び病態について学習する。 【準備学習項目】 ・先天異常の種類や代表的疾患を列挙できる。 【講義】 行動目標(SBOs): ・顎顔面口腔領域に部分症を示す症候群の成り立ち, 分類及び病態について解説できる。 学習方略(LS): 301講堂, マルチメディアの併用, 第2実習室 コアカリキュラム: F-2-4)-(3),(7) 国家試験出題基準: 必-14-A-b,-B-e, 総-(VI)-11-A,I	同上
7月20日(水) 1時間 9:00 ~ 9:50	総括	学習内容: 病因と病態との関連性や病態の病理学的特徴について体系づける。 【準備学習項目】 ・歯科医師国家試験過去問題で病理学と関連する主に必修及び歯科医学総論領域, 一部歯科医学各論領域について解答し, 正誤答の理由を含めて説明できる。 【講義】 ・病因と6大病変との関連性について説明できる。 ・6大病変の病理学的特徴について解説できる。 学習方略(LS): 301講堂, マルチメディアの併用, 第2実習室 コアカリキュラム: D-4, F-2 国家試験出題基準: 必-14, 総-(VI)	山本浩嗣
7月20日(水) 1時間 10:00 ~ 10:50	総括	学習内容: 病因と病態との関連性や病態の病理学的特徴について体系づける。 【準備学習項目】 ・歯科医師国家試験過去問題で病理学と関連する主に必修及び歯科医学総論領域, 一部歯科医学各論領域について解答し, 正誤答の理由を含めて説明できる。 【講義】 ・口腔・顎顔面領域における主な疾患の病理学的特徴について説明できる。 学習方略(LS): 301講堂, マルチメディアの併用, 第2実習室 コアカリキュラム: D-4, F-2 国家試験出題基準: 必-14, 総-(VI)	同上
7月20日(水) 1時間 11:00 ~ 11:50	問題演習	学習内容: 問題演習(中間試験) 行動目標(SBOs): ・問題演習を通して「病因」と「病態」の関わりについて医学的見地から総括し, 説明できる。 実施場所: 301講堂, 第2実習室	同上